



## 2020年度園芸品評会開催

1月19日、2会場(宮農センター・鹿児島市民体育館)に分けて品評会を開き、52品目339点が出品されました。毎年農業まつりに合わせて園芸品評会を開催していましたが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止となりました。しかし、各地域の部会員や直売所の出品者から開催を求める声もあり、感染拡大防止策として、出品物の受け取り方法を工夫したり、出品者に観覧を控えていただくなどの対策を講じて開催しました。

会場には、根菜類や葉菜類、果実類など品目ごとに陳列し、鹿児島県や市、市場関係者が出品物を審査し、優等賞から3等を決めました。また、優等賞23点の中から農協長賞2点(各会場1点)が選ばれました。今回、優等賞に選ばれた23点は、受付支店等に写真を掲載しています。



## 農協長賞・優等賞(敬称略)



南部(鹿児島市民体育館)  
ピーマン  
鳥丸 俊秀(福平)

北部(宮農センター)  
ホウレンソウ  
松元 純博(小山田)

## 南部優等賞(鹿児島市民体育館)(敬称略)



ダイコン  
新田 ひろみ(錫山)



コマツナ  
水口 久雄(宇宿)



ホウレンソウ  
里 和武(星ヶ峯)



## 園芸品評会の野菜を かごしまへども食堂・地域 食堂ネットワークに提供

コロナ禍でもこども達の食を支え、安心・安全な地場産野菜を届け、新たな食農教育と都市農業の魅力発信に繋げたいと、園芸品評会に出品された野菜を同地域食堂ネットワークで使う食材として市内外23食堂に無償で提供しました。



1月23日、同地域食堂ネットワークポリ通りのこども食堂で提供した野菜を使った手作りお弁当(60個)が作られ、予約のあった市内外の家庭に配布しました。今回は、提供された野菜の中からブロッコリーやロマネスコ、ホウレンソウなどをお弁当の食材として使用しました。また、ジャガイモやキャベツ、タマネギなどはフードパントリー(食品支援)として利用者に手渡しました。

神野友美代表は「いただいた野菜をフルに使いました。食材が多かったのです」